



おつとめ練習

『おつとめ総会』
学生会

10月30日、小樽天理教館にて「人のたすかりを願ひ、祈る。」をテーマに学生会おつとめ総会が開催された。
来年の「春の学生おちばがえり」参加対象となる中学3年生から高校、大学、専門学校生15名と学生担当委員会スタッフ18名が参加した。

北海道教区報

第583号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

「おつとめの意義をより身近に感じとってもらえたように思う。また、カードに記入する時の真剣な学生の姿に私たちも心を打たれ胸が熱くなった。おつとめ練習、本番においても参加者の真剣な眼差しと姿勢に感動を覚えた」と述べた。

また、学生会歴代委員長が自らの経験談とおちばに帰る尊さをわかりやすく伝え、当時の記

開会にあたり奥村教区長より挨拶をいただき、その後、テーマに沿い身近な人、家族や友人の身上や事情のたすかりを願う「おたすけお願ひカード」を記入。それぞれのカードを三宝にお供し、全員で座りづとめ、よろづよ八首をつとめた。

高橋清彦学生担当委員長は、同日おちばにおいても北海道学生会交流行事が開催され、リモートにより北海道とおちばの学生の交流をはかった。

録ビデオを上映し、春学への動員をうながした。



すべてよろこび
すべておたすけ
北海道教区

教祖 140 年祭
北海道教区スローガン



座りづとめ



おちばでの北海道学生会

おちばにて
北海道学生会交流行事

10月30日、おやさとかた東右1棟講堂にて北海道出身者による学生会交流行事が行われた。おちばで生活する高校生、大学生、専修科生の13名が集い、自己紹介やゲームを通しお互いの親睦を深めた。

おちばにて
北海道学生会交流行事



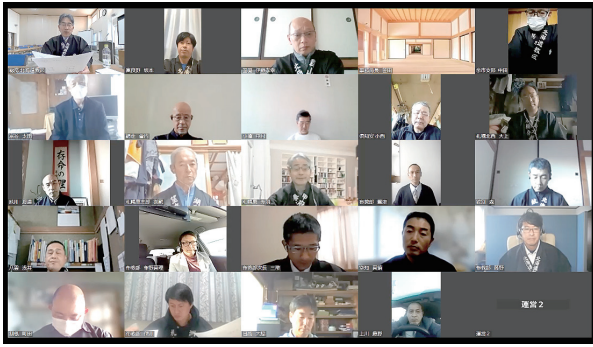
笑顔あふれる楽しいひととき

『支部布教部長会議』

布教部

秋季大祭において真柱様より
諭達第四号が發布された。これ
を受け、布教部（内田誠司部長）
では、いち早く諭達にこもる親
の思いを思案し年祭活動にむか
うスタートダッシュが大切との
思いから、11月2日支部布教部
長会議を開催した。

教区長の挨拶では「お道の者
は突然の節をいただいた時その
節から芽が吹く力を頂戴できる
ような通り方が大事である。」
と節をいただいた時の心の治
め方を示され、自身が所属す



オンライン会議の様子



上川支部みおしえ学習会

(活動紹介動画より)

る大教会長
のお話を
紹介さ
れた上
で、「自
分の
おは
わから
ないも
の。気
づきが
切である。」
またANAの業績が
黒字に転換したニュースから
「どうしたら好転していくか全
員が考えてきた結果であろう。
どんな節の中でも出来ること
を探して実施していこう。諭達
を通して年祭の意義を理解し
思いに沿わせてもらおう。全
道が心を揃え活動を活性化で
きるよう進んでいただきたい」
とお話を頂いた。

布教部長からは「諭達をご
発布いただき、そこに込めら
れた思いをたずね、すぐにでも
教祖140年祭の三年千日活動に
向かいたい。前回までは一人ひ
とりが教祖に喜んでいただけ
るよう心を定めて始めていこ

千恵広支部
(活動紹介動画より)

いかけ
上川支
部での
「みおし
え学習
会」の動
画を視聴
した。

函館支部
(活動紹介動画より)

続いて、
支部布教
部長自
身の活
動や支
部活動
の目標
等を話
し合っ
た。

最後に各
班の発表を行
い、様々な方向性を聞かせて頂
いた。

会議出席者からは「みおしえ
学習会の動画を見て支部でも
やってみたいと思った」「教会
長の参加が少ないので出てこ
れない教会を拠点として活動す
るのもいいかと思う」など前向
きな意見が交わされた。

諭達ご発布直後に支部布教部
長会議が開催出来たことを感謝
し、心新たに諸活動を進めさせ
ていただきたい。

(布教部長内田誠司)

定例にをいかけ

やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ
会」(藤野充普代表)では、11月
16日定例の布教活動を行った。
時折、小雨の混じる中では
あったが、集まった9名の方々
が二人一組となつて、戸別訪問
や道行く人に声をかけてリーフ
レットを手渡しするなど、思い
思いに、にをいかけに歩いた。
その後、にをいかけの報告や
先輩布教師から学んだことなど
の感想を発表。また諭達の発布
を受けての年祭活動への意気込
みなどを意見交換をして散会し
た。

次回は12月11日(日)午後1
時30分より
(代表藤野充普)



やまびこ会 (活動紹介動画より)

成人の旬に

— 北見支部長 長尾 正人 —



東中央大教会の柏木庫治先生の講話集の中に「壊し大工と建前棟梁」の話がある。

壊し大工とは、家屋解体業者の別称であるが、工事現場に限らず、例えば会議の場面でも居る時がある。今はその時期でないとか、予算がないとか、それをやる意味はあるのか等々様々な理由を挙げ反対意見を言って話を潰すのが壊し大工。

それに対して、中々簡単にはいかないかも知れないが皆が力を合わせてやってみようという物事を前向きに考えるのが建前棟梁。

壊し大工の様な意見を言う人は話を潰すだけではなく、それによって自分の運命をも壊しているのである。だからどのような事でも物事が成り立って行くように思案を重ね努力をする事が運命の榮えて行く道であるとお話されている。

教区長会議で提案された輪読

勉強会にしても当初、今更教会内容の充実かとか〇〇支部では1回もやっていないらしい等、否定的な声を聞く事があった。実のところ私もどういう効果があるのか、それをやる事の意味が正直分かっていなかった。



しかし、いざ行ってみると、それまでの例会では各部の連絡事項を伝え、配布物を渡し特に話し合う事もなく終わる事が多かったが、輪読をする事で一人ひとりが自分の考えを述べる機会が出来たし、また他の人の考

えを聞く事が出来た。

それによって相手の日頃考えている事や信仰姿勢等を知る事が出来るようになった。少しの時間ではあるが、教会の在り方であったり自分の生活状況であったりと必ずしも台本通りの話しばかりではなく脱線しまくっているが、とても面白い場になっている。

話し合う事でお互いを知り、回数を重ねる事で信頼感も生まれて来る。聞いた話の中で、自分でもやってみようと思う事を見つける事もあると思う。同じ支部に所属していても年代が違えば特に話す事も少なくなつて、支部活動の一体感が今一つ足りていなかったのは、コロナ禍のせいもあるが人と人とのコミュニケーション不足も原因の1つと思う。活動の元は、いかに心を寄せて頂くにあると思うので、今以上に声を掛け合つて勇んで参加して頂けるようつとめて行きたいと思っている。ちなみに私は多分にして壊し大工の性分なのでこの旬に少しでも建前棟梁の心持ちで事にあたって行こうと思っている。

『支部隊長会議』

災害救隊

災害救援ひのきしん隊（三幣敦志隊長）では、10月30日、オンラインによる支部隊長会議を開催し、21名が参加した。

奥村教区長は会議冒頭に「秋季大祭で真柱様よりをこ発表頂いた論達の中で、『頻発する自然災害や疫病の世界的流行も、すべては私たちに心の入れ替えを促される子供可愛い親心の現れであり、てびきである』と述べらている。

災害隊員として、真柱様の言葉を胸に、「心の入れ替え」を実行すべく、日々のひのきしんに励んでいただきたい。年祭活動の時句であることを思う時、ひのきしんとは、にをいがけ・おたすけであり、これを実践し、励んでいただきたい」と挨拶した。

その後、三幣教区隊長より新たに支部隊長に任命された9名の紹介があり、活動報告、次年度予定が発表された。

続いて災害発生時の動きについて、「隊長・幹部必携」を元に支部隊長の初動作を再確認し合った。

事務局からは、来年6月の白川山林整備ひのきしん担当支部の説明があり、最後に質疑応答。隊長挨拶をもって会議を終えた。



オンライン会議の様子

— けいじばん —

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選拜式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお願い致します。

『天理教学を学ぶ会』
公開講座開催

10月30日、教務支庁において「天理教学を学ぶ会」（荒川善孝代表）主催の第4回公開講座が3年ぶりに開催された。

奥村尚人教区長の開講の挨拶に続いて、講師の澤井義則・天理大学名誉教授が『イスラームと天理教』と題し、信者数が22世紀を待たずにキリスト教を追い抜き、世界人口の4人に一人を占めるムスリムへの布教伝道の可能性について講演、23人が受講した。



講座の様子



澤井名誉教授

『子ども食堂
トーキング Day』
福祉厚生部

福祉厚生部（五十嵐仁部長）は、11月2日（水）羽幌分教会を会場に、リモート混合にて「子ども食堂トーキング Day」を開催した。

これは本年度から取り組んでいる「北海道子ども食堂ネットワーク」創設に向けた活動で、当日は現在12か所ある子ども食堂（地域食堂・地域サロンも含む）のうち8カ所の運営者が参加した。

初めて道内の運営者が一堂に会し、子ども食堂をはじめとする地域活動にかかわるようになった経緯や、活動の中で感じ

入寮者募集

布教の家 北海道寮

願書受付期間
(本部布教一課)
1/25 ~ 2/25

教務支庁
ふせこみひのきしん

毎月29日 午前10時～12時 開催
※昼食は各自

教祖140年祭

すべて喜び すべておたすけ 北海道教区

お問い合わせ 主事 中村 圭一 090-7511-1184
主事 山田 幸雄 011-891-1367
主事 木岡 喜久子 011-716-3715

●布教の家北海道寮の案内は11月25日の教区長会議において、全国の各教会へ配布いたしました。詳細は、いずれも教区ホームページにて。



教区ホームページ

食事提供以外の活動をしている？

- フードバンク・フードパントリー
- 学習支援
- 子育て支援
- 文化教室のなもの(ヨガ・音楽・音楽教室など)
- 食育教室

など

福祉厚生部 会議の様子

た喜び、さらに運営にかかわる経費やコロナ禍での活動などそれぞれが抱える課題、子ども食堂ネットワークへ希望することなど、現状を語りあった。

参加者からは、「貴重な情報を得ることができた」「地域によって環境が違うことが分かった」また「これからの活動に大きな刺激をうけた」などの声を聞くことができた。

その後、北海道子ども食堂ネットワークの運営方針に関して担当者より発表をおこない、それぞれの運営者に確認した。これからの活動にとって有意義な意見交換の場となった。

(担当 坂下寛幸)

北海道教務支庁日誌抄

11月1日	青年会 Meets!
2日	一手一つお願いづとめ
3日	支部長会議
4日	支部布教部長会議
12日	任命・事情願書発送
16日	札幌中南支部例会
19日	女子青年例会
23日	やまびこ会
25日	おうた合唱団
26日	会計部
30日	教区長上和
	教区長会議
	本部月次祭遥拝式
	運営委員会
	主事会議
	教区長帰庁
	たすけ推進会議

計報

立教一八五年・令和4年

寺口 定雄様	10月11日出直(95歳)
元北海道教区主事	
城誠道分教会前会長	(空知支部)
高橋 朝男様	10月10日出直(88歳)
本函館分教会前会長	(函館支部)
小野寺 梅子様	10月31日出直(103歳)
祝豊分教会前会長	(南空知支部)